

福井県内企業景気動向調査 調査結果

(2021年4～6月 当期(実績))

(2021年7～9月 次期(見通し))

株式会社 福井銀行 コンサルティンググループ
株式会社 福井キャピタル&コンサルティング

【調査の目的】

福井県内企業のみなさまにアンケート調査を行うことにより、景気動向(県内企業の現在の経営環境や今後の見通し)について情報提供いただき、共有することで、今後のみなさまの経営に少しでも役立てていただくことを目的としております。

【調査概要】

- ・調査対象企業 福井県内の企業 1,356社
- ・回答企業 393社(回答率29.0%)
- ・調査時期 2021年6月初旬

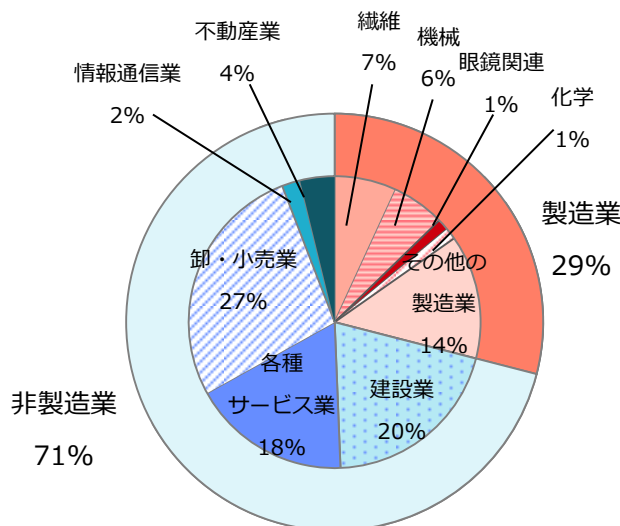
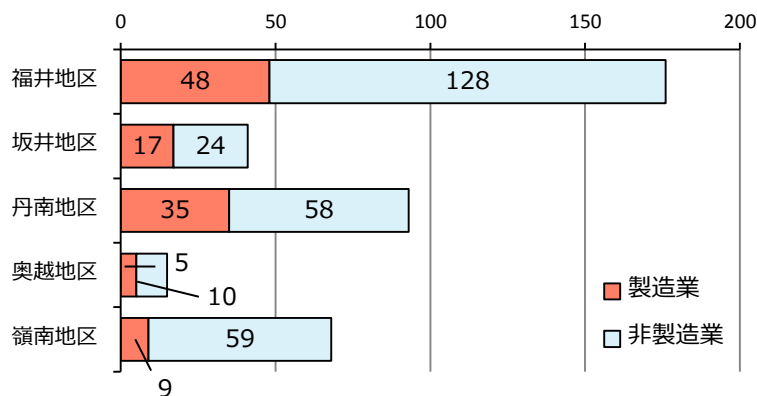
【D I 調査について】

このアンケート調査では、D I (Diffusion Index)による分析を行っております。D Iは、「好転」と回答した企業の割合と「悪化」と回答した企業の割合との差を求めたものです。景気が良い場合はプラス幅が大きくなり、景気が悪化している場合はマイナス幅が大きくなります。
※ 原材料価格、在庫状況については、「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合との差を求めており、上記の判断とは逆の傾向を示します。

【特別調査について】

今回は、新型コロナウイルスの企業への影響に関する調査を行っております。ご参照の上、お役立ていただければ幸いです。

【回答企業の概要】



全体の景況判断は、前年度のコロナ禍による大幅下落の反動増となり、業績判断D Iは前回調査のマイナス25から大幅に上昇しプラス17となり、2019年1～3月期以来9四半期ぶりにプラス圏に転じた。前回予想のプラス1を上回った。また、来期は今期より低下のマイナス1を予想するものの、コロナ前の水準に回復する見通しである。

業種別にみると、製造業では、繊維、機械、化学、その他製造業は前回調査から大幅に上昇しプラス圏に転じた。眼鏡は前回調査から低下したもののプラス圏を維持した。全体としては、前年度のコロナ禍による大幅下落の反動増ながら、回復傾向となった。

非製造業では、建設業は前回調査から増加したもののマイナス圏に留まった。各種サービス業、卸・小売業は前回調査から大幅に上昇しプラス圏に転じた。情報通信業は前回調査から上昇しプラス幅を広げた。不動産業は前回調査から大幅に上昇しプラス幅を広げた。全体としては、前年度のコロナ禍による大幅下落の反動増ながら、回復傾向となった。

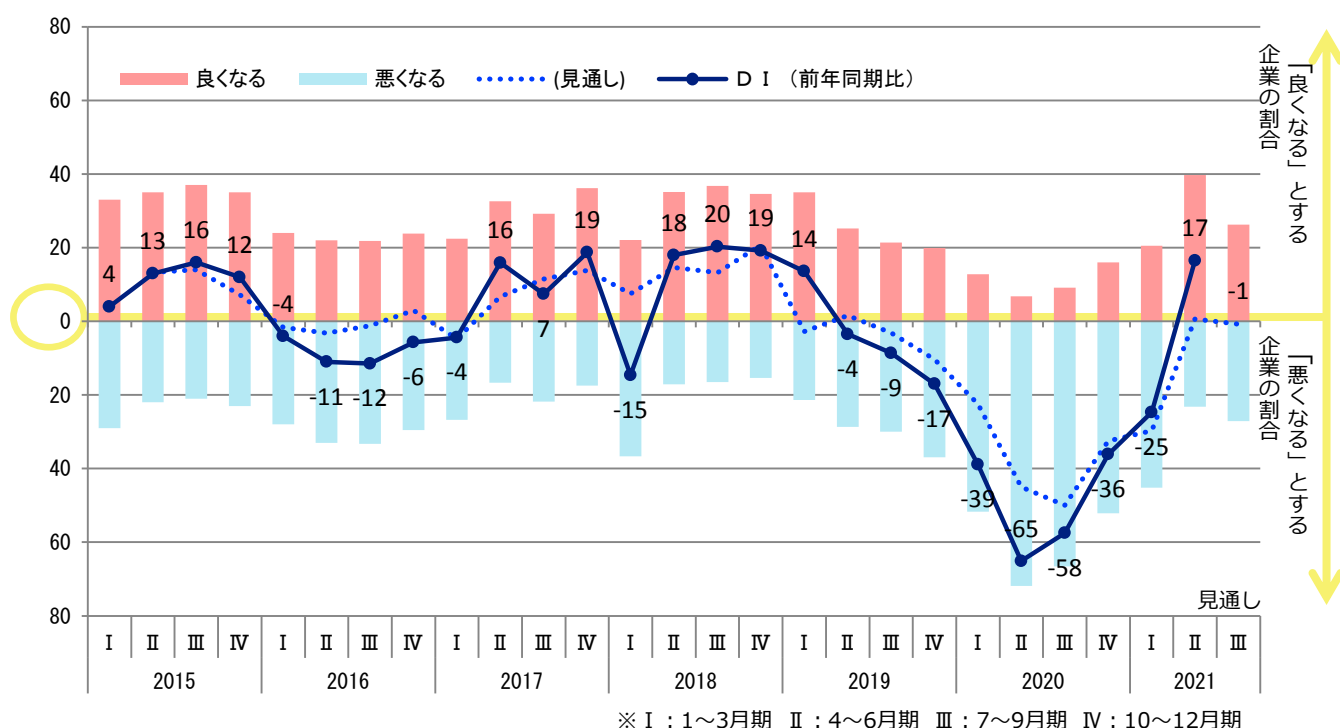
地域別にみると、福井地区、坂井地区、丹南地区、奥越地区は大幅に上昇しプラス圏に転じた。嶺南地区は大幅に上昇しプラスマイナス0となった。

先行きは、製造業では、繊維は大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通し。機械、化学、その他製造業は大幅な低下を予想するもののプラス圏を維持する見通し。眼鏡は大幅な上昇を予想しプラス幅を広げる見通しである。

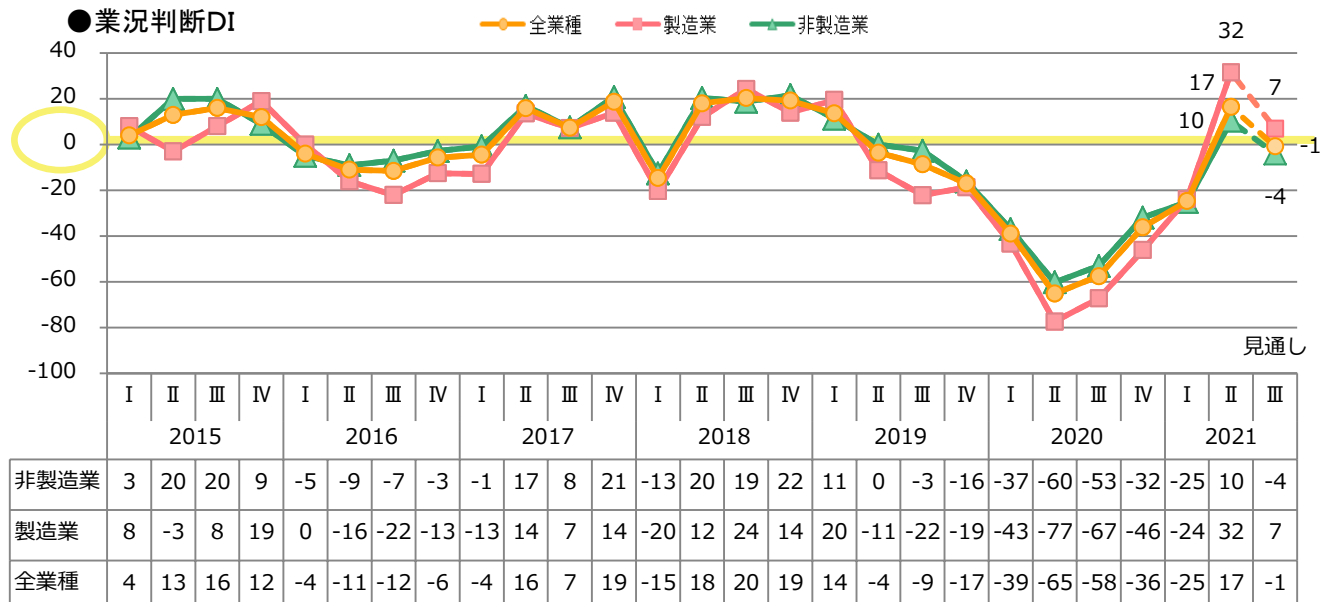
非製造業では、建設業は低下を予想しマイナス圏に留まる見通し。各種サービス業、情報通信業は低下を予想するもののプラス圏を維持する見通し。卸・小売業はともに大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通し。不動産業は大幅な低下を予想しプラスマイナス0となる見通しである。

個別企業のコメントでは、前回に引き続き新型コロナウイルスによる社会や経済への影響を懸念する意見や原材料（仕入れ・資材価格）の高騰を懸念する意見が多く見られた。

●自社の業況判断D Iの推移

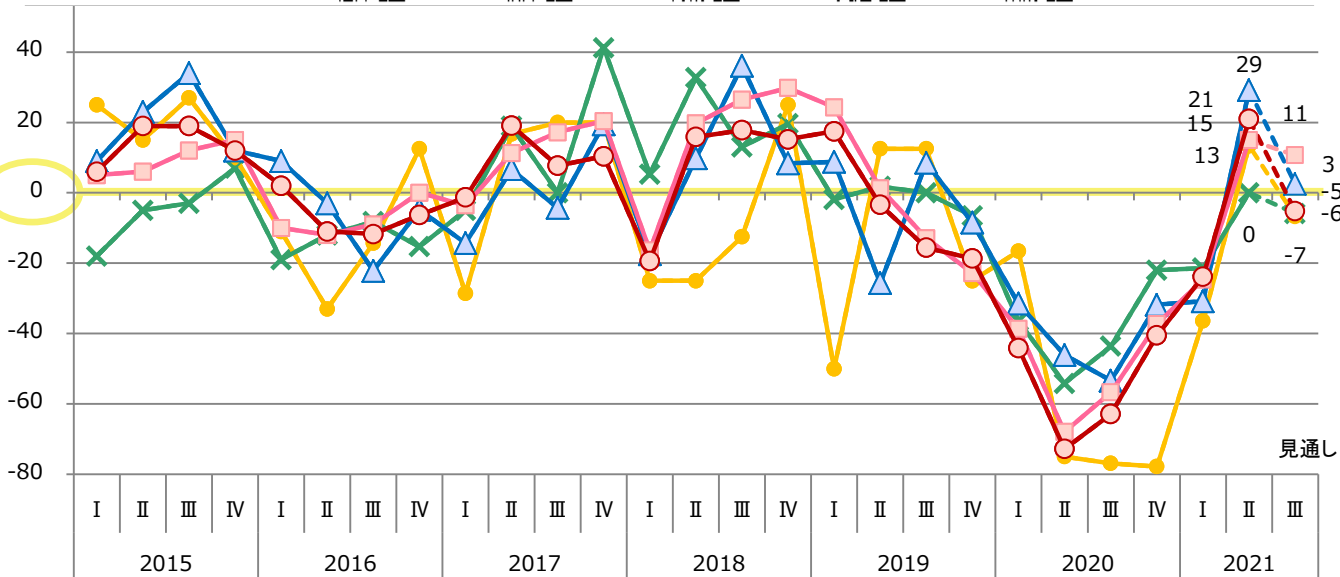


- 業況判断DIは、前回調査から大幅に上昇したもののプラス17となり、プラス圏に転じた。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から大幅に上昇しプラス32となり、プラス圏に転じた。非製造業は大幅に上昇しプラス10となり、プラス圏に転じた。
- 先行きは、製造業は大幅な低下を予想するもののプラス圏を維持する見通し。非製造業は大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである



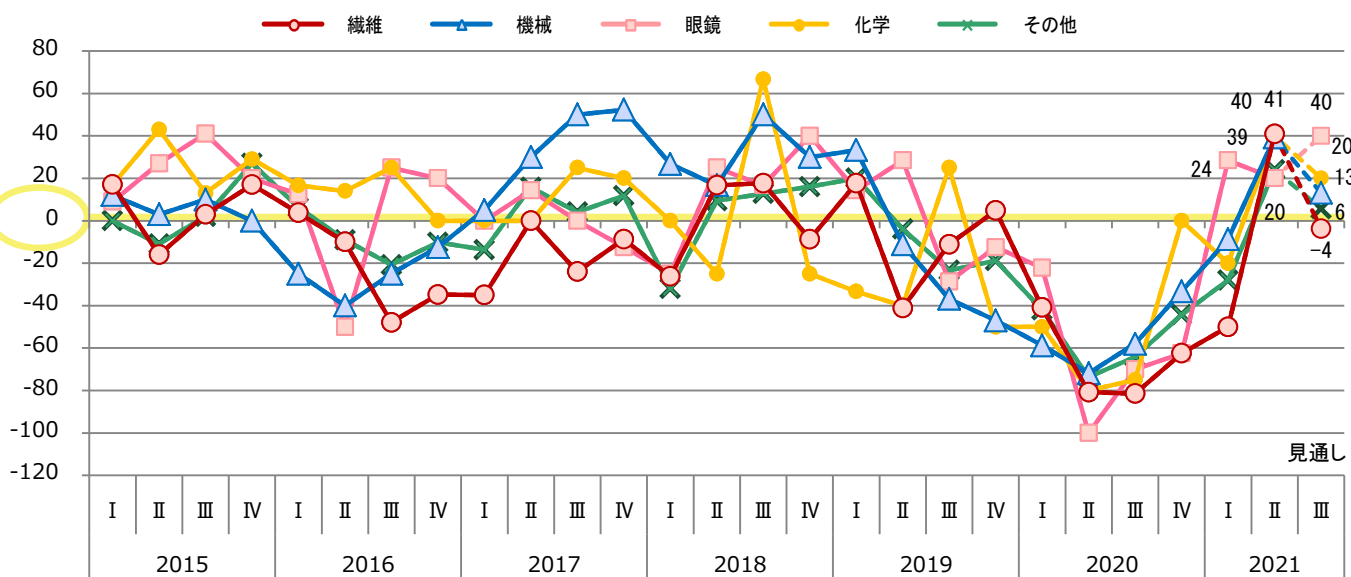
●地域別業況判断DI

福井地区 坂井地区 丹南地区 奥越地区 嶺南地区



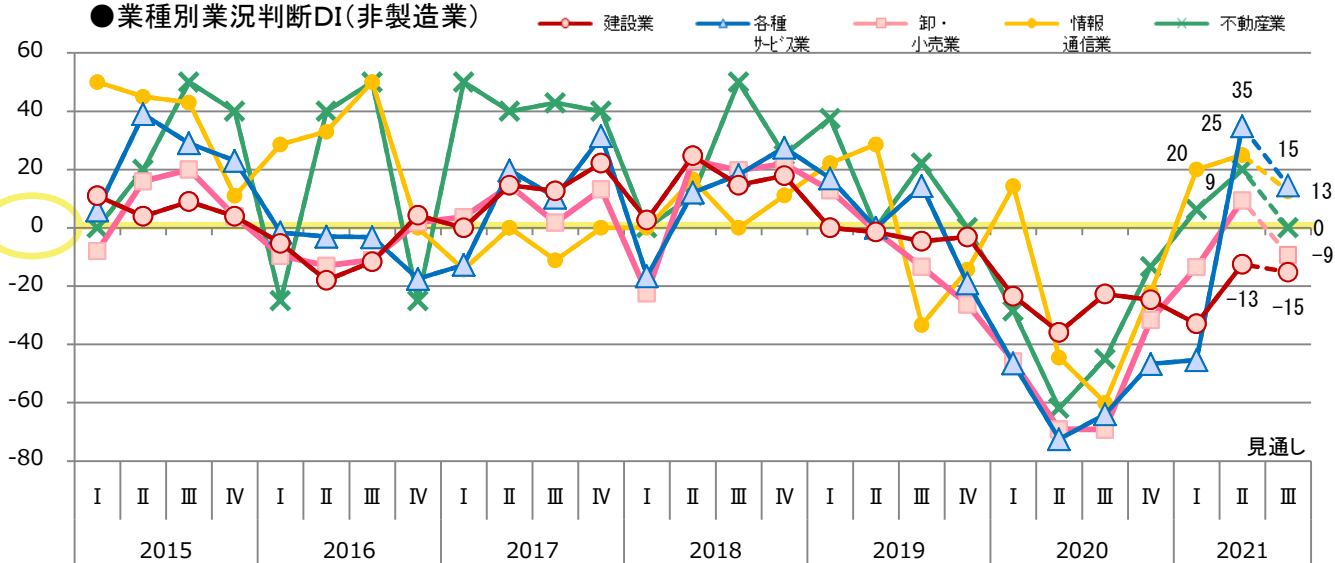
- 地域別では、福井地区は大幅に上昇しプラス21となり、プラス圏に転じた。坂井地区は大幅に上昇しプラス29となり、プラス圏に転じた。丹南地区は大幅に上昇しプラス15となり、プラス圏に転じた。奥越地区は大幅に上昇しプラス13となり、プラス圏を維持した。嶺南地区は大幅に上昇しプラスマイナス0となった。
- 先行きは、福井地区、奥越地区は大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通し。坂井地区は大幅な低下を予想するもののプラス圏を維持する見通し。丹南地区は低下を予想するもののプラス圏を維持する見通し。嶺南地区は低下予想しマイナス圏に転じる見通しである。

●業種別業況判断DI(製造業)



- 製造業では、繊維は前回調査から大幅に上昇しプラス41となり、プラス圏に転じた。機械は前回調査から大幅に上昇しプラス39となり、プラス圏に転じた。眼鏡は前回調査から低下したもののプラス20となりプラス圏を維持した。化学は前回調査から大幅に上昇しプラス40となり、プラス圏に転じた。その他製造業は前回調査から大幅に上昇しプラス24となり、プラス圏に転じた。
- 先行きは、繊維は大幅な低下を予想しマイナス圏に転じるとなる見通し。機械、化学、その他製造業は大幅な低下を予想するもののプラス圏を維持する見通し。眼鏡は大幅な上昇を予想しプラス幅を広げる見通しである。

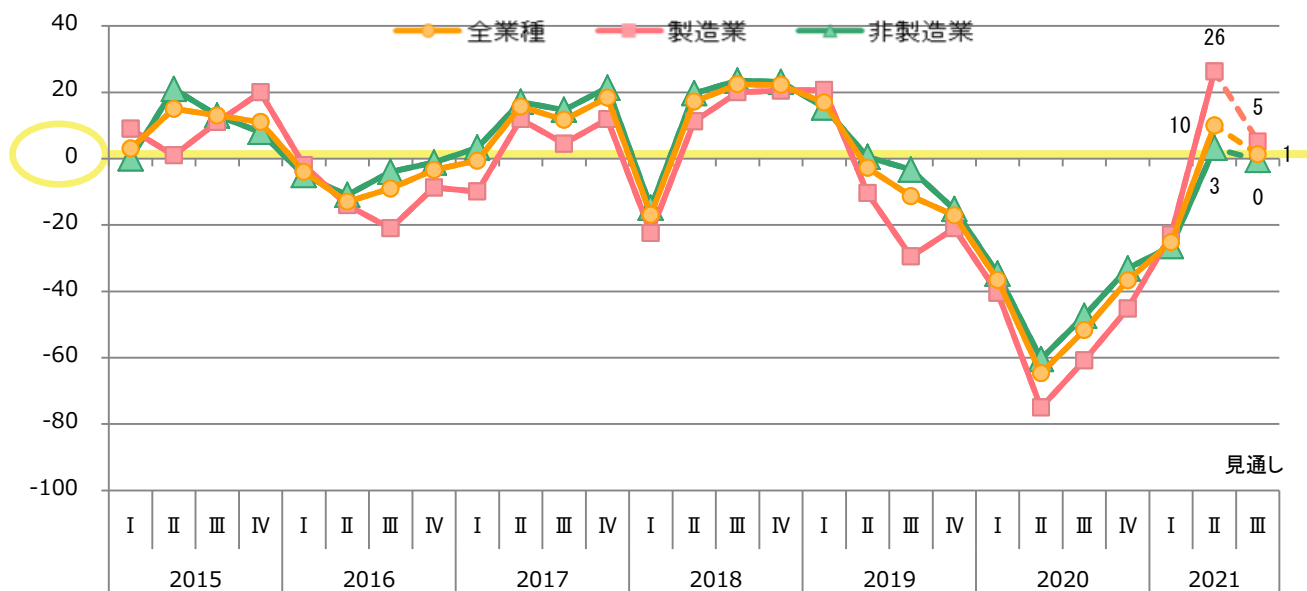
●業種別業況判断DI(非製造業)



- 非製造業では、建設業は前回調査から大幅に上昇したもののマイナス13となり、マイナス圏に留まった。各種サービス業は前回調査から大幅に上昇しプラス35となり、プラス圏に転じた。卸・小売業は前回調査から大幅に上昇しプラス9となり、プラス圏に転じた。情報通信業は前回調査から上昇しプラス幅を広げた。不動産業は前回調査から大幅に上昇しプラス20となり、プラス幅を広げた。
- 先行きは、建設業はやや低下を予想しマイナス圏に留まる見通し。各種サービス業は大幅な低下を予想するもののプラス圏を維持する見通し。卸・小売業は大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通し。情報通信業は大幅な低下を予想するもののプラス圏を維持する見通し。不動産業は大幅な低下を予想しプラスマイナス0となる見通しである。

売上(工事)高

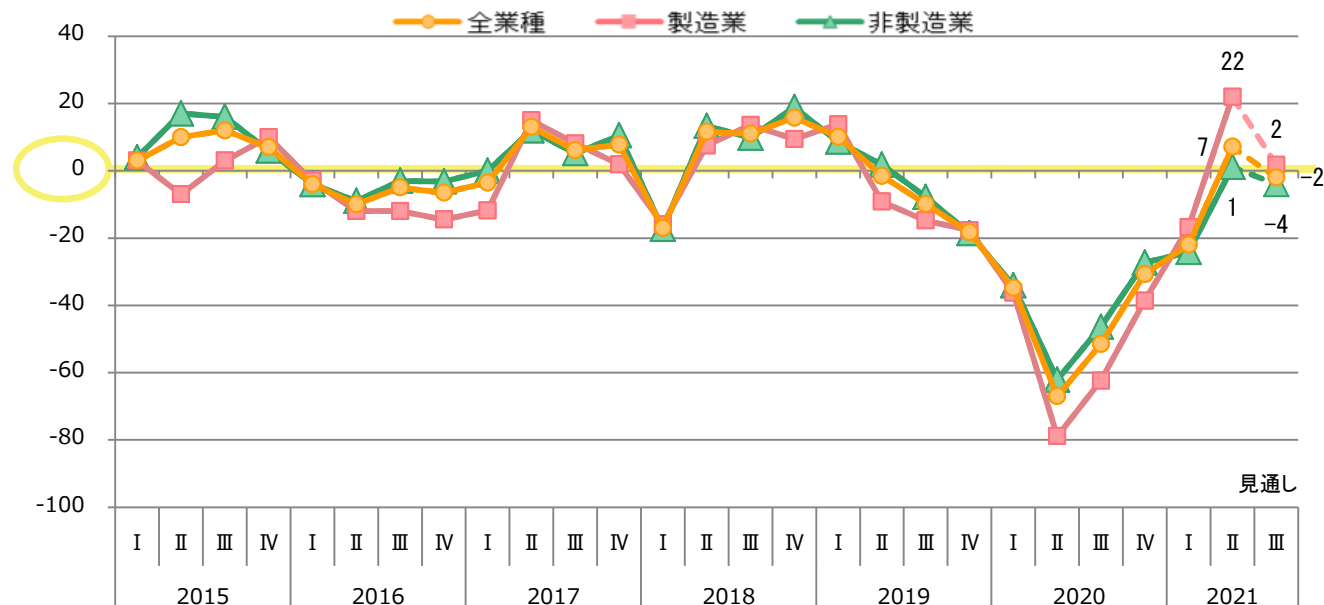
増加する—減少する



- 売上(工事)高D Iは、前回調査から大幅に上昇しプラス10となり、プラス圏に転じた。
- 業種別にみると、製造業、非製造業ともに前回調査から大幅に上昇しプラス圏に転じた。
- 先行きは、製造業は大幅な低下を予想するもののプラス圏を維持する見通し。非製造業はやや低下を予想しプラスマイナス0となる見通しである。

収益状況

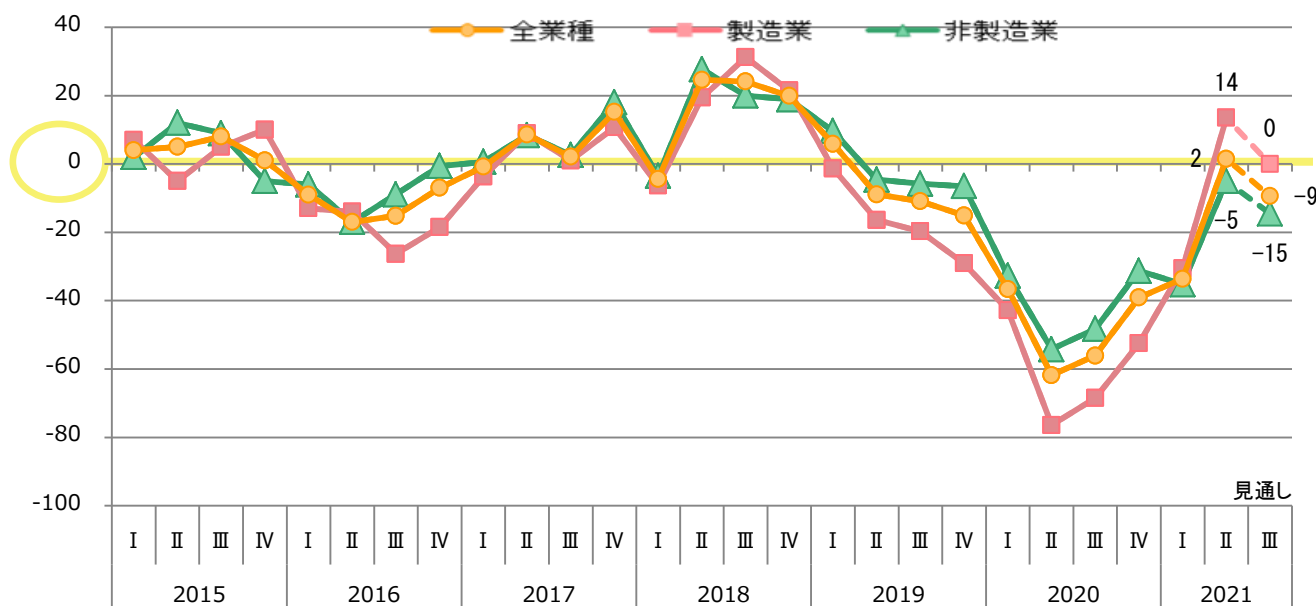
良くなる—悪くなる



- 収益状況D Iは、前回調査から上昇しプラス7となり、プラス圏に転じた。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から大幅に上昇しプラス圏に転じた。非製造業は前回調査から大幅に上昇しプラス1となりプラス圏に転じた。
- 先行きは、製造業は大幅な低下を予想するもののプラス圏を維持する見通し。非製造業は低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。

受注残高

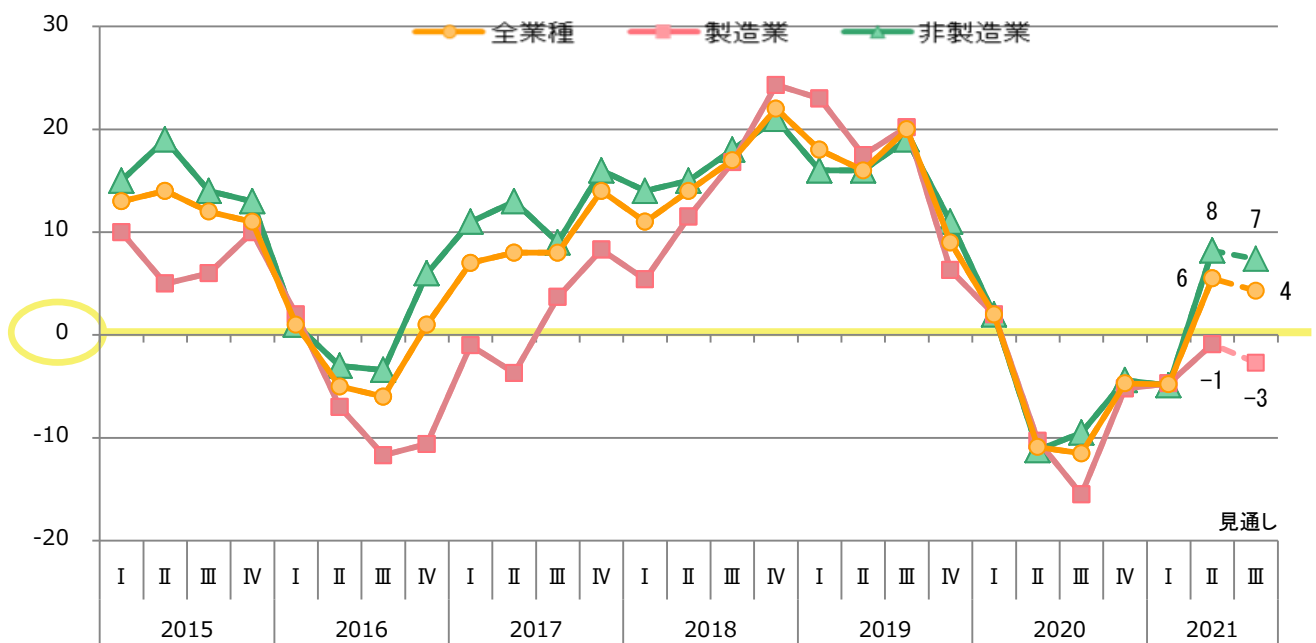
多い—少ない



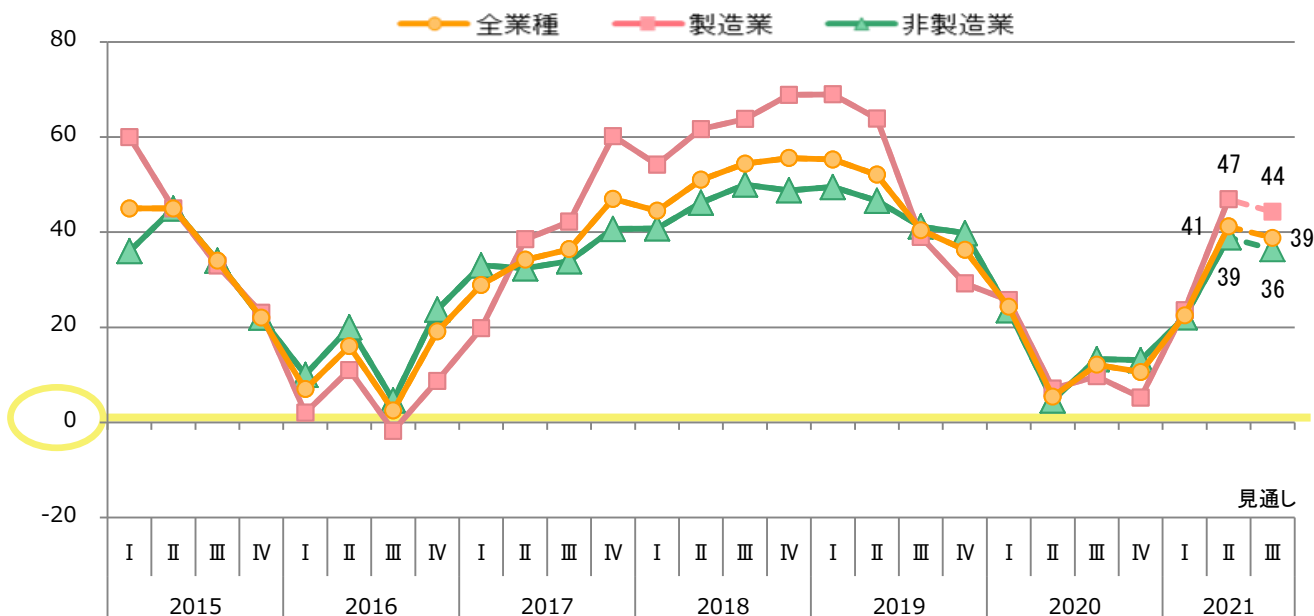
- 受注残高D I は、前回調査から大幅に上昇しプラス2となり、プラス圏に転じた。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から大幅に上昇しプラス圏に転じた。非製造業は前回調査から大幅に上昇したもののマイナス圏に留まった。
- 先行きは、製造業は大幅な低下を予想しプラスマイナス0となる見通し。非製造業は大幅な低下を予想しマイナス幅を広げる見通しである。

製(商)品販売価格

上昇—低下



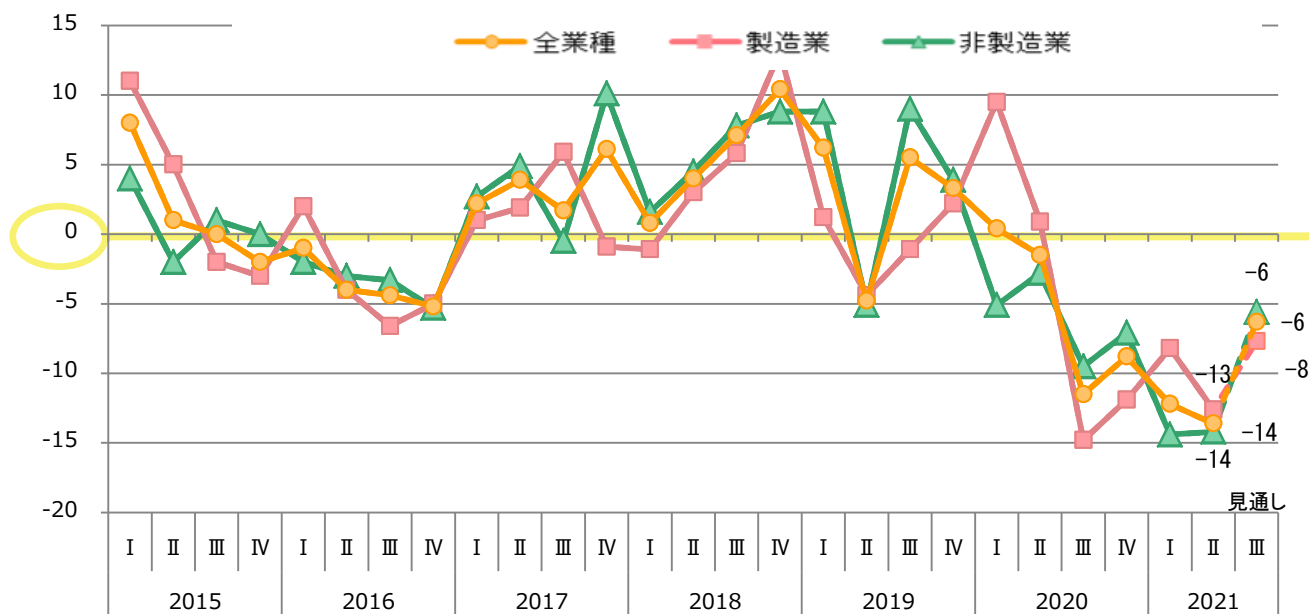
- 製(商)品販売価格D I は、前回調査から上昇しプラス6となり、プラス圏に転じた。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から上昇したもののマイナス圏に留まった。非製造業は前回調査から大幅に上昇しプラス圏に転じた。
- 先行きは、製造業はやや低下を予想しマイナス圏に留まる見通し。非製造業はほぼ横ばいを予想しプラス圏を維持する見通しである。



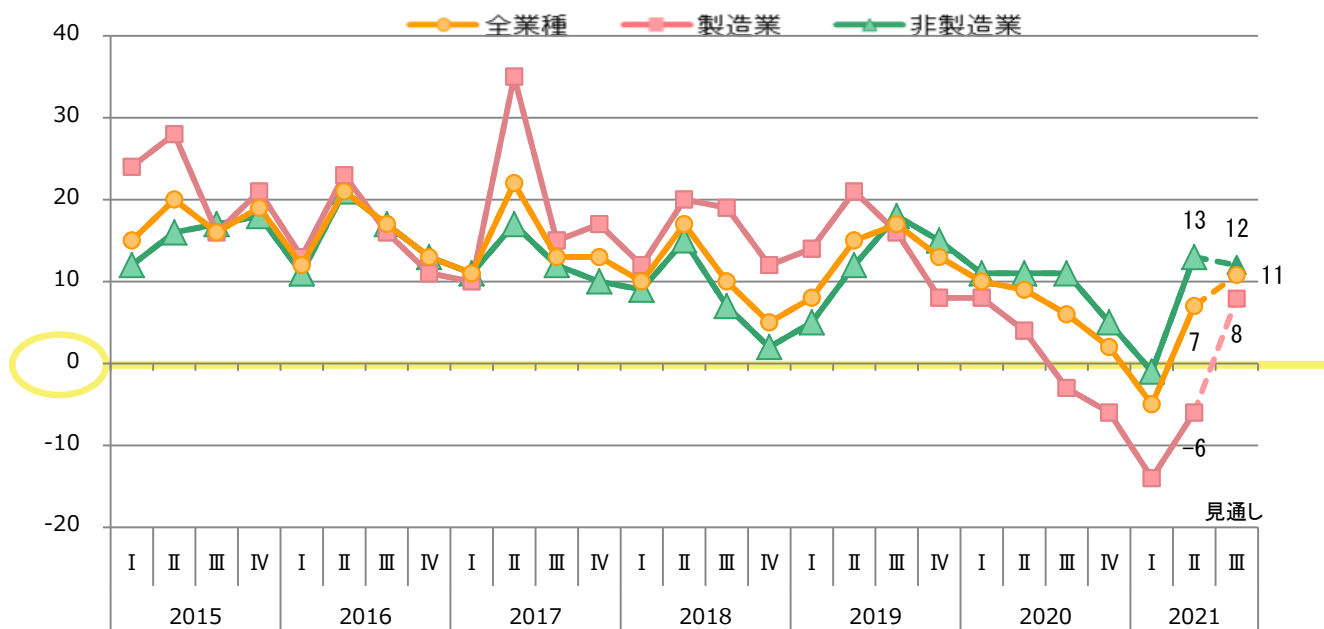
- ・ 原材料（仕入・資材）価格 D I は、前回調査から大幅に上昇しプラス41となり、プラス圏に留まった。
- ・ 業種別にみると、製造業、非製造業ともに前回調査から大幅に上昇しプラス圏に留まった。
- ・ 先行きは、製造業、非製造業ともにやや低下を予想しプラス圏に留まる見通しである。

在庫

多い—少ない

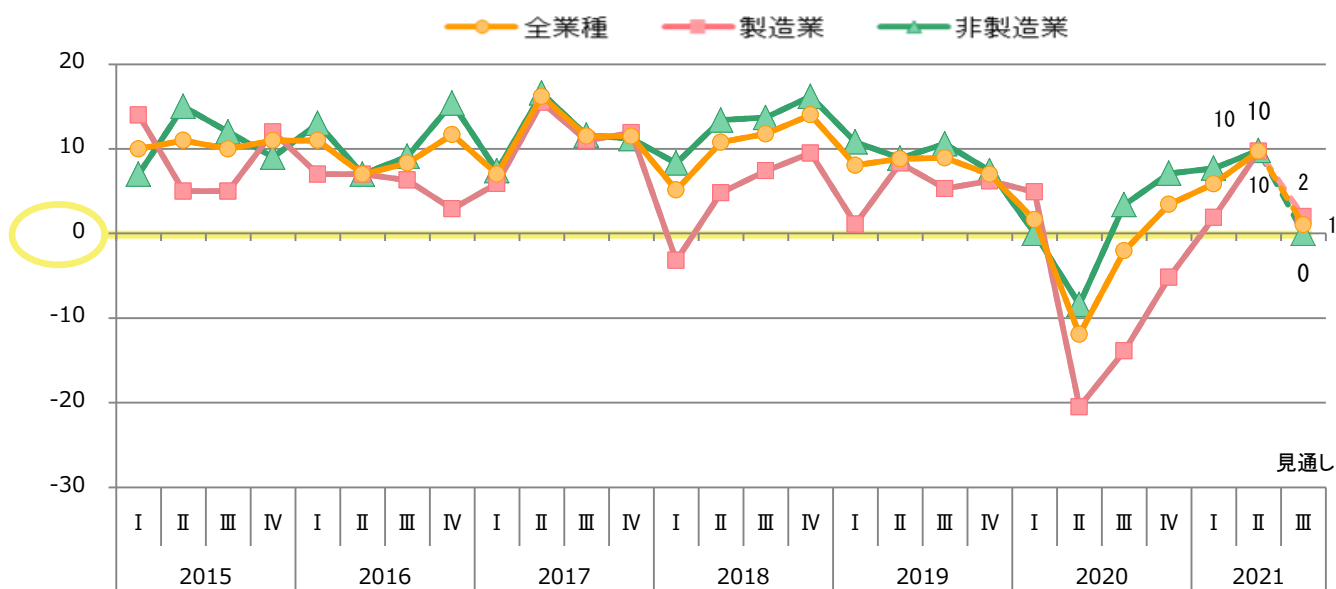


- ・ 在庫 D I は、前回調査からやや低下しマイナス14となり、マイナス圏に留まった。
- ・ 業種別にみると、製造業は前回調査から低下したもののマイナス圏に留まった。非製造業は前回調査から横ばいとなりマイナス圏に留まった。
- ・ 先行きは、製造業、非製造業ともに上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通しである。



- 雇用者数D I は、前回調査から上昇しプラス7となり、プラス圏に転じた。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から上昇したもののマイナス圏に留まった。非製造業は前回調査から大幅に上昇しプラス圏に転じた。
- 先行きは、製造業は大幅な上昇を予想しプラス圏に転じる見通しである。非製造業はほぼ横ばいを予想しプラス圏を維持する見通しである。

資金繰り



- 資金繰りD I は、前回調査から上昇しプラス10となり、プラス幅を広げた。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から上昇しプラス幅を広げた。非製造業は前回調査からやや上昇しプラス圏を維持した。
- 先行きは、製造業は低下を予想するもののプラス圏を維持する見通し。非製造業は低下を予想しプラスマイナス0となる見通しである。

●2019年と比較した2020年の企業業績

(単一回答)

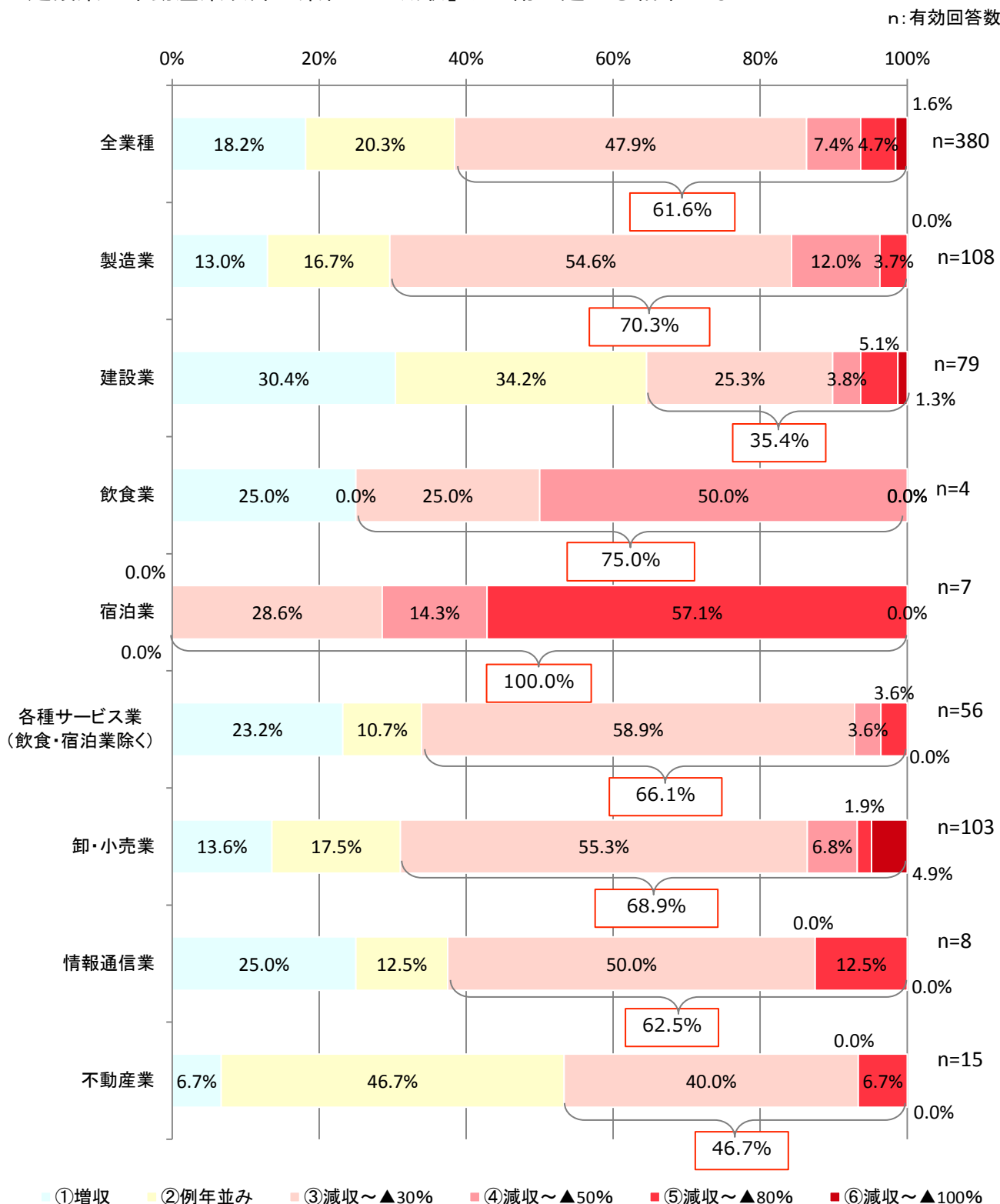
◆全業種で「減収」が約6割を占め、「増収」は18.2%、「例年並み」は20.3%と回答

製造業では「減収」70.3%、「増収」13.0%、「例年並み」16.7%となった。

建設業では「減収」35.4%、「増収」30.4%、「例年並み」34.2%となった。

飲食業では「減収」75.0%、「増収」25.0%、「例年並み」0.0%となった。

建設業と不動産業以外の業種は「減収」が6割を超える結果となった。



● 2020年の企業業績への新型コロナウイルス感染症の影響

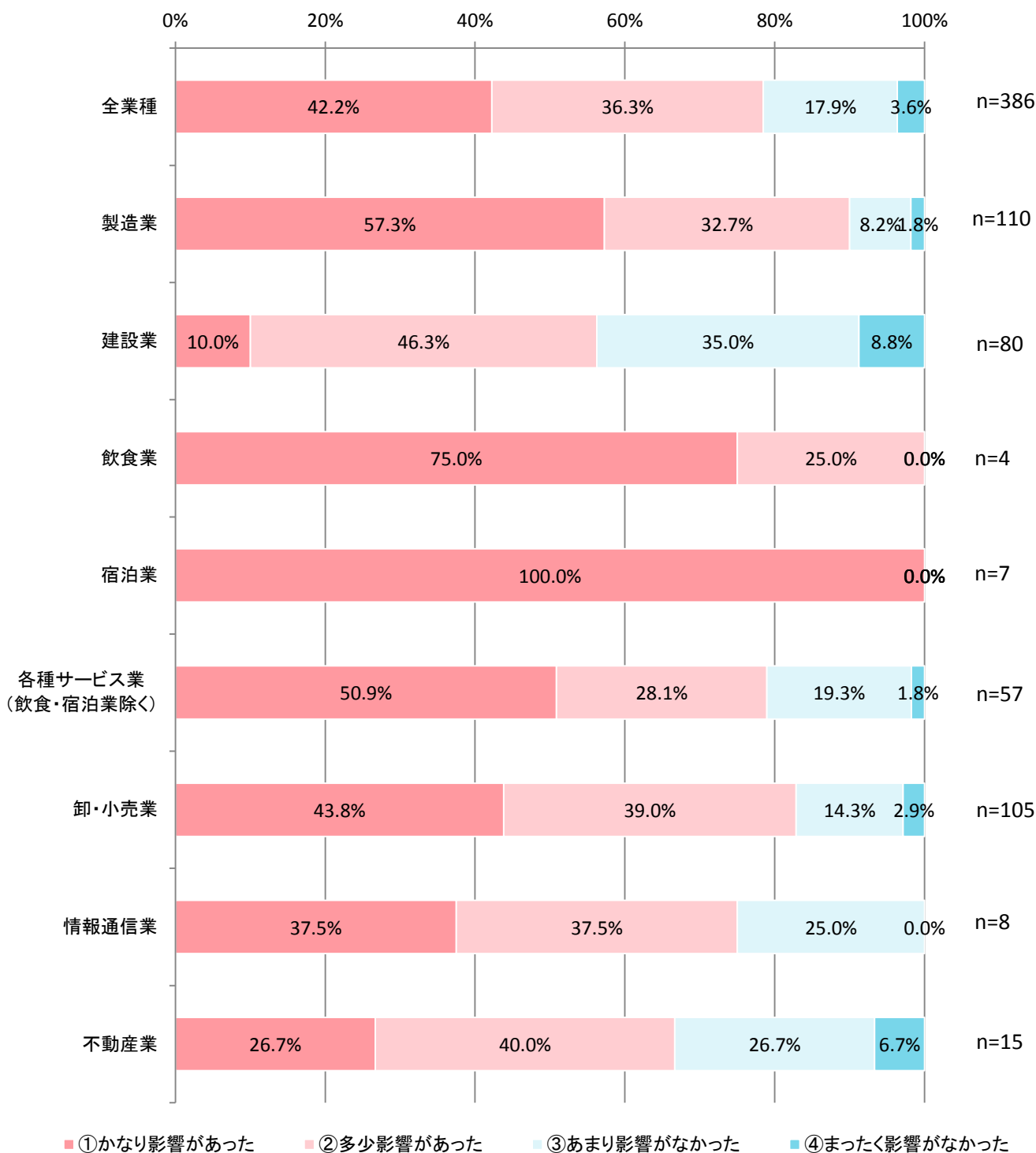
(単一回答)

◆全業種で「かなり影響があった」42.2%、「多少影響があった」36.3%合わせて78.5%が「影響があった」と回答

飲食業、宿泊業では「かなり影響があった」「多少影響があった」を合わせると100.0%となり、大きな影響を受けたことが見て取れた。

建設業では「あまり影響がなかった」35.0%、「まったく影響がなかった」8.8%となり、他の業種に比べて影響が少なかったことが見て取れた。

n:有効回答数



●「増収」「例年並み」と回答された企業の理由

(複数回答)

◆全体で「特に理由はない」が多いものの、業種により多岐にわたる

繊維では「マスクなどの衛生用品の需要の拡大」、機械、情報通信業では「パソコンなど電子機器の需要の拡大」、その他の製造業、卸・小売業では「外出自粛によるその他の巣籠り需要の拡大」、建設業では「北陸新幹線や中部縦貫道などの工事の受注」「再開発やまちづくりなどの工事の受注」が上位を占めた。

n: 有効回答数

	製造業			非製造業					全体 n=141
	繊維 n=5	機械 n=7	その他の製造業 n=19	建設業 n=47	各種サービス業 n=20	卸・小売業 n=32	情報通信業 n=3	不動産業 n=8	
①マスクなどの衛生用品の需要の拡大	40.0%	0.0%	0.0%	4.3%	10.0%	12.5%	0.0%	0.0%	7.1%
②パソコンなどの電子機器の需要の拡大	0.0%	28.6%	10.5%	4.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	5.0%
③スマホアプリやITサービスの利用の拡大	0.0%	0.0%	5.3%	2.1%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%
④インターネット通販／ECの利用の拡大	0.0%	0.0%	10.5%	4.3%	5.0%	15.6%	0.0%	0.0%	7.1%
⑤テイクアウトやデリバリーの利用の拡大	0.0%	0.0%	5.3%	2.1%	5.0%	6.3%	0.0%	0.0%	3.5%
⑥外出自粛によるその他の巣籠り需要の拡大	20.0%	14.3%	47.4%	2.1%	5.0%	40.6%	0.0%	0.0%	18.4%
⑦生活様式の変化による需要の拡大	20.0%	0.0%	21.1%	0.0%	5.0%	21.9%	0.0%	0.0%	9.2%
⑧新製品・サービス開発、新規事業への参入	20.0%	14.3%	5.3%	0.0%	10.0%	0.0%	33.3%	0.0%	4.3%
⑨北陸新幹線や中部縦貫道などの工事の受注	20.0%	0.0%	21.1%	38.3%	10.0%	12.5%	0.0%	0.0%	20.6%
⑩再開発やまちづくりなどの工事の受注	0.0%	0.0%	5.3%	25.5%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	10.6%
⑪その他	0.0%	0.0%	10.5%	12.8%	35.0%	12.5%	33.3%	12.5%	14.9%
⑫特に理由はない	20.0%	71.4%	15.8%	40.4%	30.0%	18.8%	33.3%	87.5%	34.0%

業種	内容
製造業（繊維）	防護服の付属製品を製造。
製造業（その他の製造業）	飛沫防止用パーテーション需要の拡大
製造業（その他の製造業）	巣籠り需要による雑貨品が好調。
製造業（紙・パルプ）	顧客の新製品開発が多い。
情報通信業	デジタル化、省人化投資の増加。
建設業	消費増税時の受注残。
建設業	中部縦貫道による工事増。
卸・小売業	パジャマ等のルームウェアの需要の増加。
卸・小売業	スーパーへの納品の拡大。
各種サービス業	冷蔵・倉庫業の開始
各種サービス業	北陸新幹線延伸工事による受注の増加。
各種サービス業	送迎バス需要への転換。

新型コロナウイルス感染症の県内企業への影響調査 ④

●「減収」と回答された企業が回復のためにとった対策 (複数回答)

◆ 全体で「各種の支援制度を活用した」が58.1%と最も多い

「各種支援制度を活用した」、次いで「各種経費を削減した（人件費除く）」となった。

n:有効回答数

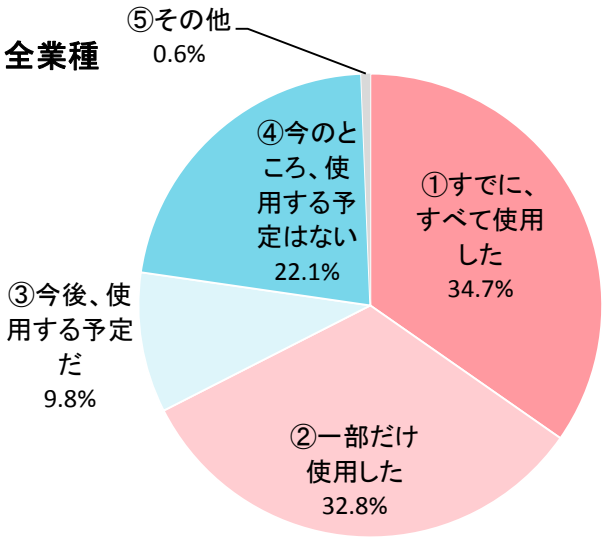
	製造業					非製造業					全体 n=236
	繊維 n=21	機械 n=16	眼鏡関連 n=5	化学 n=5	その他の 製造業 n=32	建設業 n=27	各種 サービス業 n=48	卸・小売業 n=71	情報通信業 n=5	不動産業 n=6	
①既存の製品・サービスを改良した	9.5%	0.0%	0.0%	20.0%	9.4%	22.2%	12.5%	23.9%	60.0%	0.0%	16.1%
②新製品・サービスを開発した	23.8%	12.5%	40.0%	20.0%	12.5%	3.7%	8.3%	21.1%	40.0%	0.0%	15.3%
③既存事業のビジネスモデルを変更した	33.3%	6.3%	20.0%	40.0%	6.3%	0.0%	8.3%	14.1%	40.0%	0.0%	12.3%
④新規事業に参入した	4.8%	6.3%	0.0%	20.0%	3.1%	7.4%	6.3%	8.5%	0.0%	0.0%	6.4%
⑤新たな業種に進出した	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	9.4%	0.0%	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%
⑥原材料などの購入を見直した	28.6%	6.3%	0.0%	20.0%	21.9%	7.4%	2.1%	15.5%	20.0%	16.7%	13.1%
⑦生産ラインや業務フローなどを見直した	33.3%	25.0%	40.0%	80.0%	28.1%	3.7%	20.8%	25.4%	20.0%	0.0%	23.7%
⑧人件費を削減した	33.3%	25.0%	0.0%	20.0%	37.5%	0.0%	29.2%	14.1%	0.0%	0.0%	20.3%
⑨各種経費を削減した(人件費除く)	81.0%	75.0%	40.0%	80.0%	40.6%	29.6%	52.1%	45.1%	80.0%	16.7%	50.0%
⑩各種の支援制度を活用した	61.9%	81.3%	80.0%	60.0%	62.5%	55.6%	62.5%	49.3%	40.0%	33.3%	58.1%
⑪その他	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	2.8%	0.0%	16.7%	2.1%
⑫特に対策は取っていない	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	9.4%	25.9%	6.3%	16.9%	0.0%	33.3%	11.9%

新型コロナウイルス感染症の県内企業への影響調査 ⑤

● 各種支援制度を活用して調達した資金について (単一回答)

◆ 全業種で「すでに、すべて使用した」34.7%、「一部だけ使用した」32.8%と合わせて67.5%が「使用した」と回答

全業種で「使用した」が7割弱に及ぶ。「今の所使用する予定はない」22.1%、「今後、使用する予定だ」9.8%となった。



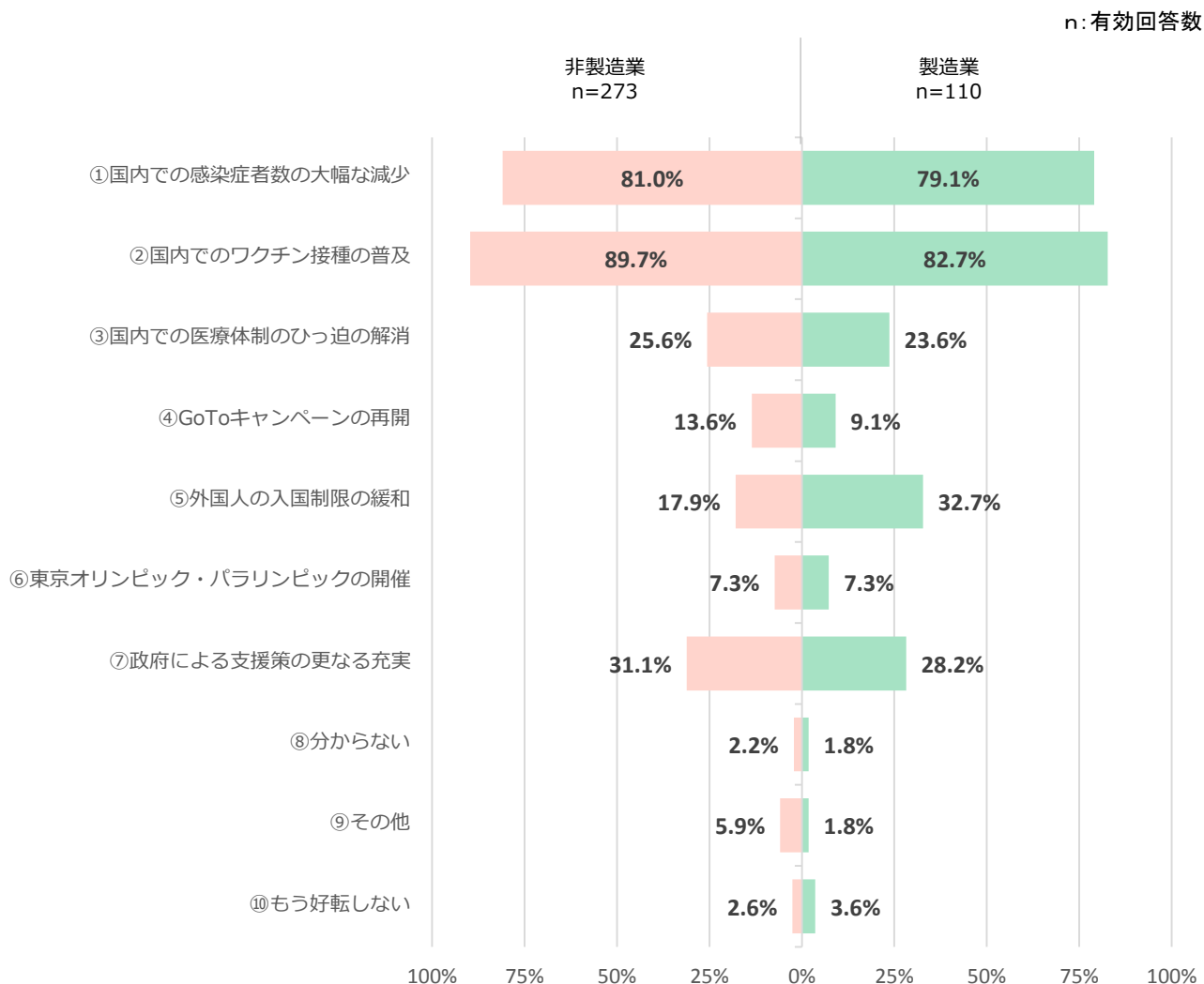
n=317 n:有効回答数

●日本経済が好転するきっかけ

(複数回答)

◆「国内でのワクチン接種の普及」が業種を問わず最も多い

「国内でのワクチン接種の普及」が業種を問わず最も多く、次いで「国内での感染者数の大幅な減少」となった。次いで、製造業では「外国人の入国制限の緩和」となり、非製造業では「政府による支援策の更なる充実」となった。



新型コロナウイルス感染症の県内企業への影響調査 ～最後に

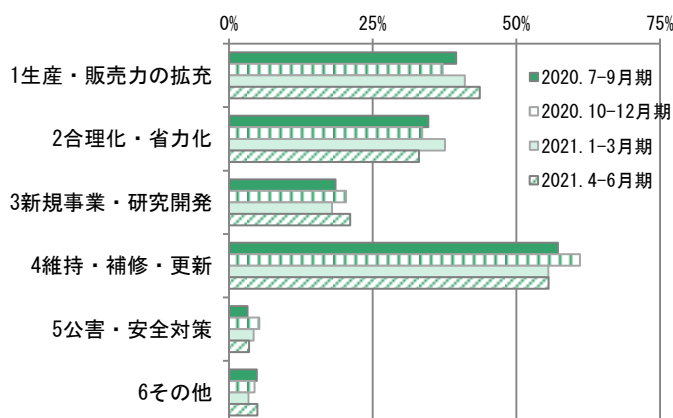
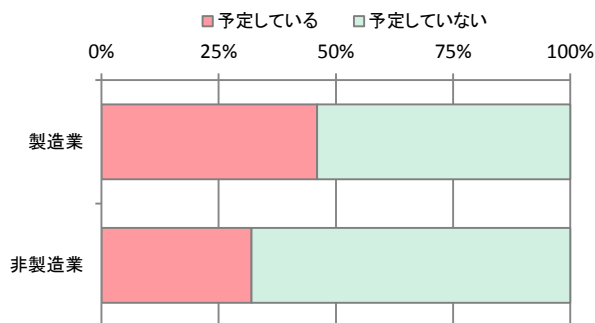
企業業績への影響は、「影響があった」と回答した企業は製造業では90.0%、飲食業、宿泊業では100.0%、最も少ない建設業でも56.3%となった。また、企業業績は「減収」と回答した企業が約6割を占め、製造業では70.3%、飲食業では75.0%、宿泊業では100.0%となった。比較的影響の少なかった建設業では35.4%が「減収」となった。県内の多くの企業が新型コロナウイルス感染症の影響により、減収したことがうかがえる。

企業業績が「増収」「例年並み」と回答した企業では、巣籠り需要の拡大や衛生用品や生活様式の変化による需要の拡大などWithコロナによるものや、建設業関連を中心に北陸新幹線工事等によるものが多くあげられた。また、「減収」と回答した企業では、企業業績を回復させるための対策として「各種支援制度を活用した」「各種経費を削減した(人件費除く)」が多くあげられた。国内経済が好転するきっかけは「国内でのワクチン接種の普及」が最も多くあげられた。

設備投資の有無

●設備投資の有無

●設備投資の目的(複数回答)



業種別分類集計①

四半期別		2021年1-3月期				2021年4-6月期					2021年7-9月期				
		前期実績				当期実績					来期見通し				
状況		良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	前回 調査時 今期 見通し	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	
項目		①	②	③	①-③	①	②	③	前期比	①-③	①	②	③	今期比	①-③
業況		20.5	34.4	45.2	▲ 24.7	39.7	37.2	23.2	↑	16.5	0.6	26.3	46.5	27.1	▲ 0.8
製造業		25.7	24.8	49.5	▲ 23.8	50.9	29.8	19.3	↑	31.6	4.7	30.7	45.6	23.7	7.0
繊維		10	30	60.0	▲ 50.0	63.0	14.8	22.2	↑	40.8	0.0	29.6	37.0	33.3	▲ 3.7
機械		26.1	39.1	34.8	▲ 8.7	52.2	34.8	13.0	↓	39.2	▲ 4.2	34.8	43.5	21.7	13.1
眼鏡		57.1	14.3	28.6	28.5	40.0	40.0	20.0	↓	20.0	42.8	60.0	20.0	20.0	40.0
化学		20.0	40.0	40.0	▲ 20.0	60.0	20.0	20.0	↑	40.0	20.0	20.0	80.0	0.0	20.0
その他		28.0	16.0	56.0	▲ 28.0	44.4	35.2	20.4	↑	24.0	4.0	27.8	50.0	22.2	5.6
非製造業		18.2	38.5	43.3	▲ 25.1	35.1	40.1	24.7	↑	10.4	▲ 1.2	24.5	46.9	28.5	▲ 4.0
建設業		10.9	45.3	43.8	▲ 32.9	20.0	47.5	32.5	↑	▲ 12.5	▲ 20.3	21.5	41.8	36.7	▲ 15.2
各種サービス業		15.2	24.2	60.6	▲ 45.4	49.3	36.2	14.5	↑	34.8	3.1	30.4	53.6	15.9	14.5
卸・小売業		25.0	36.5	38.5	▲ 13.5	37.4	34.6	28.0	↑	9.4	7.4	24.3	42.1	33.6	▲ 9.3
情報通信業		20.0	80.0	0.0	20.0	37.5	50.0	12.5	↑	25.0	0.0	25.0	62.5	12.5	12.5
不動産業		18.8	68.8	12.5	6.3	33.3	53.3	13.3	↑	20.0	6.3	14.3	71.4	14.3	0.0
売上(工事)高		22.2	30.4	47.4	▲ 25.2	38.1	33.8	28.1	↑	10.0	1.2	29.5	42.3	28.2	1.3
製造業		25.7	25.7	48.6	▲ 22.9	50.0	26.3	23.7	↑	26.3	2.8	29.8	45.6	24.6	5.2
繊維		10.0	30.0	60.0	▲ 50.0	63.0	11.1	25.9	↑	37.1	▲ 10.0	29.6	40.7	29.6	0.0
機械		26.1	43.5	30.4	▲ 4.3	47.8	34.8	17.4	↑	30.4	4.0	30.4	47.8	21.7	8.7
眼鏡		57.1	14.3	28.6	28.5	60.0	20.0	20.0	↓	40.0	28.5	60.0	20.0	20.0	40.0
化学		40.0	20.0	40.0	0.0	60.0	20.0	20.0	↑	40.0	20.0	20.0	80.0	0.0	20.0
その他		26.0	18.0	56.0	▲ 30.0	42.6	31.5	25.9	↑	16.7	2.0	27.8	46.3	25.9	1.9
非製造業		20.6	32.4	47.0	▲ 26.4	33.2	36.8	30.0	↑	3.2	0.4	29.3	40.9	29.7	▲ 0.4
建設業		16.9	38.5	44.6	▲ 27.7	22.5	42.5	35.0	↑	▲ 12.5	▲ 23.4	30.4	32.9	36.7	▲ 6.3
各種サービス業		18.5	20.0	61.5	▲ 43.0	50.7	29.9	19.4	↑	31.3	7.7	37.3	43.3	19.4	17.9
卸・小売業		26.0	29.2	44.8	▲ 18.8	30.8	33.6	35.5	↑	▲ 4.7	9.5	27.1	38.3	34.6	▲ 7.5
情報通信業		0.0	80.0	20.0	▲ 20.0	37.5	50.0	12.5	↑	25.0	0.0	12.5	75.0	12.5	0.0
不動産業		18.8	62.5	18.8	0.0	26.7	53.3	20.0	↑	6.7	12.5	13.3	73.3	13.3	0.0
収益		23.1	31.8	45.1	▲ 22.0	34.9	37.2	27.8	↑	7.1	▲ 6.2	25.6	46.4	27.9	▲ 2.3
製造業		29.0	25.2	45.8	▲ 16.8	45.6	30.7	23.7	↑	21.9	▲ 6.5	28.1	45.6	26.3	1.8
繊維		20.0	30.0	50.0	▲ 30.0	59.3	22.2	18.5	↑	40.8	▲ 10.0	33.3	37.0	29.6	3.7
機械		24.0	48.0	28.0	▲ 4.0	39.1	43.5	17.4	↑	21.7	▲ 16.0	26.1	47.8	26.1	0.0
眼鏡		57.1	14.3	28.6	28.5	60.0	20.0	20.0	↑	40.0	14.2	60.0	20.0	20.0	40.0
化学		40.0	0.0	60.0	▲ 20.0	60.0	0.0	40.0	↑	20.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
その他		30.0	16.0	54.0	▲ 24.0	38.9	33.3	27.8	↑	11.1	▲ 4.0	25.9	46.3	27.8	▲ 1.9
非製造業		20.6	34.7	44.8	▲ 24.2	30.6	39.9	29.5	↑	1.1	▲ 6.1	24.6	46.7	28.6	▲ 4.0
建設業		13.8	41.5	44.6	▲ 30.8	18.8	46.3	35.0	↑	▲ 16.2	▲ 26.6	20.3	45.6	34.2	▲ 13.9
各種サービス業		22.7	19.7	57.6	▲ 34.9	44.1	35.3	20.6	↑	23.5	1.5	32.4	44.1	23.5	8.9
卸・小売業		26.0	32.3	41.7	▲ 15.7	29.9	36.4	33.6	↑	▲ 3.7	2.1	25.5	43.4	31.1	▲ 5.6
情報通信業		0.0	80.0	20.0	▲ 20.0	37.5	50.0	12.5	↑	25.0	0.0	0.0	87.5	12.5	▲ 12.5
不動産業		12.5	68.8	18.8	▲ 6.3	33.3	46.7	20.0	↑	13.3	▲ 6.3	20.0	66.7	13.3	6.7
受注残高		15.2	36.1	48.8	▲ 33.6	32.4	36.7	30.9	↑	1.5	▲ 19.5	22.5	45.7	31.9	▲ 9.4
製造業		20.5	28.4	51.1	▲ 30.6	40.6	32.3	27.1	↑	13.5	▲ 20.4	22.9	54.2	22.9	0.0
繊維		10.5	31.6	57.9	▲ 47.4	54.2	8.3	37.5	↑	16.7	▲ 26.3	25.0	45.8	29.2	▲ 4.2
機械		19.0	38.1	42.9	▲ 23.9	45.0	40.0	15.0	↓	30.0	▲ 19.1	20.0	70.0	10.0	10.0
眼鏡		50.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0	50.0	↓	▲ 25.0	0.0	75.0	25.0	0.0	75.0
化学		0.0	33.3	66.7	▲ 66.7	50.0	50.0	0.0	↑	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
その他		23.1	25.6	51.3	▲ 28.2	31.8	40.9	27.3	↑	4.5	▲ 23.1	20.5	50.0	29.5	▲ 9.0
非製造業		12.2	40.4	47.4	▲ 35.2	28.0	39.0	33.0	↑	▲ 5.0	▲ 19.0	22.2	41.1	36.7	▲ 14.5
建設業		13.1	34.4	52.5	▲ 39.4	22.5	39.4	38.0	↑	▲ 15.5	▲ 30.0	22.9	35.7	41.4	▲ 18.5
各種サービス業		10.0	40.0	50.0	▲ 40.0	32.1	35.7	32.1	↑	0.0	▲ 17.2	28.6	50.0	21.4	7.2
卸・小売業		12.7	41.8	45.5	▲ 32.8	28.2	39.4	32.4	↑	▲ 4.2	▲ 9.2	20.0	37.1	42.9	▲ 22.9
情報通信業		0.0	100.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	↑	50.0	0.0	0.0	75.0	25.0	▲ 25.0
不動産業		12.5	62.5	25.0	▲ 12.5	37.5	62.5	0.0	↑	37.5	▲ 12.5	25.0	75.0	0.0	25.0

業種別分類集計②

(単位: %)

四半期別		2021年1-3月期				2021年4-6月期					2021年7-9月期				
		前期実績				当期実績					来期見通し				
状況	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	前回 調査時 今期 見通し	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.		
項目	①	②	③	①-③	①	②	③	前期比	①-③	①	②	③	今期比	①-③	
製(商)品販売価格	7.8	79.6	12.6	▲ 4.8	15.0	75.5	9.5	↑	5.5	▲ 3.0	15.2	73.9	10.9	↓	4.3
製造業	5.6	84.1	10.3	▲ 4.7	8.1	82.9	9.0	↑	▲ 0.9	▲ 7.4	7.2	82.9	9.9	↓	▲ 2.7
繊維	5.0	85.0	10.0	▲ 5.0	3.8	88.5	7.7	↑	▲ 3.9	▲ 5.0	7.7	88.5	3.8	↑	3.9
機械	8.0	72.0	20.0	▲ 12.0	9.1	72.7	18.2	↑	▲ 9.1	▲ 16.0	4.5	72.7	22.7	↓	▲ 18.2
眼鏡	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0	↑	20.0
化学	0.0	100.0	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0	↑	20.0	0.0	0.0	100.0	0.0	↓	0.0
その他	6.0	86.0	8.0	▲ 2.0	9.4	83.0	7.5	↑	1.9	▲ 6.0	7.5	83.0	9.4	↓	▲ 1.9
非製造業	8.8	77.5	13.7	▲ 4.9	18.0	72.3	9.8	↑	8.2	▲ 0.9	18.7	70.0	11.3	↓	7.4
建設業	5.3	75.4	19.3	▲ 14.0	19.1	69.1	11.8	↑	7.3	▲ 14.1	19.1	72.1	8.8	↑	10.3
各種サービス業	7.0	82.5	10.5	▲ 3.5	11.3	83.9	4.8	↑	6.5	3.5	4.8	85.5	9.7	↓	▲ 4.9
卸・小売業	13.7	72.6	13.7	0.0	23.6	63.2	13.2	↑	10.4	5.2	29.9	55.1	15.0	↑	14.9
情報通信業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0
不動産業	0.0	92.9	7.1	▲ 7.1	7.7	92.3	0.0	↑	7.7	▲ 7.1	0.0	92.3	7.7	↓	▲ 7.7
原材料(仕入・資材)価格	26.4	69.7	3.9	22.5	44.4	52.4	3.2	↑	41.2	26.6	42.2	54.4	3.4	↓	38.8
製造業	30.5	62.9	6.7	23.8	50.4	46.0	3.5	↑	46.9	28.9	47.8	48.7	3.5	↓	44.3
繊維	25.0	70.0	5.0	20.0	37.0	59.3	3.7	↑	33.3	15.0	37.0	59.3	3.7	→	33.3
機械	34.8	60.9	4.3	30.5	54.5	40.9	4.5	↑	50.0	20.0	45.5	50.0	4.5	↓	41.0
眼鏡	14.3	85.7	0.0	14.3	40.0	60.0	0.0	↑	40.0	14.3	40.0	60.0	0.0	→	40.0
化学	80.0	0.0	20.0	60.0	80.0	20.0	0.0	↑	80.0	100.0	60.0	40.0	0.0	↓	60.0
その他	28.0	64.0	8.0	20.0	53.7	42.6	3.7	↑	50.0	34.0	53.7	42.6	3.7	→	50.0
非製造業	24.7	72.7	2.6	22.1	41.9	55.1	3.0	↑	38.9	25.6	39.8	56.8	3.4	↓	36.4
建設業	36.5	63.5	0.0	36.5	55.8	44.2	0.0	↑	55.8	38.1	55.3	44.7	0.0	↓	55.3
各種サービス業	19.0	79.3	1.7	17.3	32.8	67.2	0.0	↑	32.8	22.4	29.7	68.8	1.6	↓	28.1
卸・小売業	23.4	71.3	5.3	18.1	43.0	49.5	7.5	↑	35.5	22.3	40.2	53.3	6.5	↓	33.7
情報通信業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0
不動産業	8.3	91.7	0.0	8.3	9.1	90.9	0.0	↑	9.1	8.3	9.1	81.8	9.1	↓	0.0
在庫	14.1	59.6	26.3	▲ 12.2	11.7	63.0	25.3	↓	▲ 13.6	▲ 11.5	11.0	71.7	17.3	↑	▲ 6.3
製造業	18.6	54.6	26.8	▲ 8.2	12.6	62.1	25.2	↓	▲ 12.6	▲ 17.5	7.8	76.7	15.5	↑	▲ 7.7
繊維	20.0	50.0	30.0	▲ 10.0	11.1	63.0	25.9	↓	▲ 14.8	▲ 10.0	11.1	66.7	22.2	↑	▲ 11.1
機械	15.0	60.0	25.0	▲ 10.0	16.7	72.2	11.1	↑	5.6	▲ 15.0	5.6	88.9	5.6	↓	0.0
眼鏡	16.7	50.0	33.3	▲ 16.6	0.0	60.0	40.0	↓	▲ 40.0	▲ 33.3	0.0	100.0	0.0	↑	0.0
化学	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0	20.0	40.0	40.0	↑	▲ 20.0	0.0	0.0	80.0	20.0	→	▲ 20.0
その他	21.7	54.3	23.9	▲ 2.2	12.5	60.4	27.1	↓	▲ 14.6	▲ 21.7	8.3	75.0	16.7	↑	▲ 8.4
非製造業	11.6	62.4	26.0	▲ 14.4	11.2	63.5	25.4	↑	▲ 14.2	▲ 8.1	12.7	69.0	18.3	↑	▲ 5.6
建設業	13.3	66.7	20.0	▲ 6.7	5.7	71.7	22.6	↓	▲ 16.9	2.2	9.4	69.8	20.8	↑	▲ 11.4
各種サービス業	8.3	66.7	25.0	▲ 16.7	13.3	76.7	10.0	↑	3.3	▲ 8.4	6.7	83.3	10.0	↓	▲ 3.3
卸・小売業	11.8	58.1	30.1	▲ 18.3	14.7	52.9	32.4	↑	▲ 17.7	▲ 12.9	17.6	62.7	19.6	↑	▲ 2.0
情報通信業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0
不動産業	12.5	62.5	25.0	▲ 12.5	0.0	75.0	25.0	↓	▲ 25.0	▲ 12.5	0.0	75.0	25.0	→	▲ 25.0
雇用者	17.9	59.1	23.0	▲ 5.1	25.1	56.9	17.9	↑	7.2	14.6	17.2	76.3	6.4	↑	10.8
製造業	15.9	54.2	29.9	▲ 14.0	20.2	53.5	26.3	↑	▲ 6.1	7.5	14.9	78.1	7.0	↑	7.9
繊維	20.0	60.0	20.0	0.0	14.8	55.6	29.6	↓	▲ 14.8	▲ 15.0	0.0	88.9	11.1	↑	▲ 11.1
機械	16.0	40.0	44.0	▲ 28.0	30.4	39.1	30.4	↑	0.0	16.0	21.7	73.9	4.3	↑	17.4
眼鏡	14.3	71.4	14.3	0.0	40.0	20.0	40.0	→	0.0	42.9	60.0	20.0	20.0	↑	40.0
化学	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	80.0	0.0	→	20.0	40.0	0.0	100.0	0.0	↓	0.0
その他	12.0	58.0	30.0	▲ 18.0	16.7	59.3	24.1	↑	▲ 7.4	4.0	16.7	77.8	5.6	↑	11.1
非製造業	18.8	61.2	20.0	▲ 1.2	27.2	58.3	14.5	↑	12.7	17.7	18.2	75.6	6.2	↓	12.0
建設業	18.5	61.5	20.0	▲ 1.5	37.2	52.6	10.3	↑	26.9	21.5	18.2	80.5	1.3	↓	16.9
各種サービス業	22.7	45.5	31.8	▲ 9.1	23.2	55.1	21.7	↑	1.5	19.7	25.0	66.2	8.8	↑	16.2
卸・小売業	15.5	69.1	15.5	0.0	22.6	62.3	15.1	↑	7.5	13.5	15.9	75.7	8.4	→	7.5
情報通信業	40.0	60.0	0.0	40.0	62.5	25.0	12.5	↑	50.0	60.0	0.0	100.0	0.0	↓	0.0
不動産業	17.6	76.5	5.9	11.7	6.7	93.3	0.0	↓	6.7	5.9	13.3	80.0	6.7	↓	6.6
資金繰り	13.8	78.4	7.9	5.9	15.1	79.5	5.4	↑	9.7	3.4	10.3	79.9	9.8	↓	0.5
製造業	13.1	75.7	11.2	1.9	15.8	78.1	6.1	↑	9.7	2.9	9.6	82.5	7.9	↓	1.7
繊維	25.0	55.0	20.0	5.0	25.9	66.7	7.4	↑	18.5	5.0	22.2	66.7	11.1	↓	11.1
機械	12.0	80.0	8.0	4.0	26.1	73.9	0.0	↑	26.1	▲ 4.2	13.0	87.0	0.0	↓	13.0
眼鏡	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	↓	▲ 20.0
化学	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0
その他	12.0	76.0	12.0	0.0	9.3	81.5	9.3	→	0.0	6.0	3.7	87.0	9.3	↓	▲ 5.6
非製造業	14.1	79.5	6.4	7.7	14.9	80.1	5.1	↑	9.8	3.6	10.6	78.8	10.6	↓	0.0
建設業	15.4	75.4	9.2	6.2	15.2	78.5	6.3	↑	8.9	7.8	12.8	73.1	14.1	↓	▲ 1.3
各種サービス業	15.2	77.3	7.6	7.6	18.8	78.3	2.9	↑	15.9	4.5	13.2	79.4	7.4	↓	5.8
卸・小売業	13.4	81.4	5.2	8.2	13.2	82.1	4.7	↑	8.5	▲ 1.0	7.5	82.1	10.4	↓	▲ 2.9
情報通信業	25.0	75.0	0.0	25.0	14.3	71.4	14.3	↓	0.0	25.0	14.3	71.4	14.3	→	0.0
不動産業	5.9	94.1	0.0	5.9	6.7	86.7	6.7	↓	0.0	5.9	6.7	86.7	6.7	→	0.0

地域別分類集計

(単位: %)

四半期別	2021年1-3月期				2021年4-6月期						2021年7-9月期			
	前期実績				今期実績						来期見通し			
状況	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	前回 調査時 今期 見通し	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	
項目	①	②	③	①-③	①	②	③	前期比 ①-③	①-③	①	②	③	今期比 ①-③	①-③
業況	20.5	34.4	45.2	▲ 24.7	39.7	37.2	23.2	↑	16.5	0.6	26.3	46.5	27.1	▲ 0.8
福井地区	19.9	36.4	43.7	▲ 23.8	43.2	34.7	22.2	↑	21.0	3.9	22.4	50.0	27.6	▲ 5.2
坂井地区	20.5	28.2	51.3	▲ 30.8	51.2	26.8	22.0	↑	29.2	▲ 7.7	29.3	43.9	26.8	2.5
丹南地区	24.7	25.9	49.4	▲ 24.7	38.7	37.6	23.7	↑	15.0	6.2	34.4	41.9	23.7	10.7
奥越地区	9.1	45.5	45.5	▲ 36.4	26.7	60.0	13.3	↑	13.4	9.1	20.0	53.3	26.7	▲ 6.7
嶺南地区	18.6	41.4	40.0	▲ 21.4	27.9	44.1	27.9	↑	0.0	▲ 10.0	25.0	44.1	30.9	▲ 5.9
売上(工事)高	22.2	30.4	47.4	▲ 25.2	38.1	33.8	28.1	↑	10.0	1.2	29.5	42.3	28.2	1.3
福井地区	22.5	31.1	46.4	▲ 23.9	42.5	31.6	25.9	↑	16.6	7.2	24.9	48.0	27.2	▲ 2.3
坂井地区	21.1	28.9	50.0	▲ 28.9	48.8	24.4	26.8	↑	22.0	▲ 10.3	34.1	39.0	26.8	7.3
丹南地区	23.5	24.7	51.9	▲ 28.4	36.6	32.3	31.2	↑	5.4	5.0	37.6	37.6	24.7	12.9
奥越地区	18.2	27.3	54.5	▲ 36.3	33.3	46.7	20.0	↑	13.3	▲ 9.1	26.7	40.0	33.3	▲ 6.6
嶺南地区	21.1	36.6	42.3	▲ 21.2	23.5	44.1	32.4	↑	▲ 8.9	▲ 8.6	27.9	36.8	35.3	▲ 7.4
収益	23.1	31.8	45.1	▲ 22.0	34.9	37.2	27.8	↑	7.1	▲ 6.2	25.6	46.4	27.9	▲ 2.3
福井地区	19.6	34.6	45.8	▲ 26.2	38.9	37.7	23.4	↑	15.5	▲ 2.0	20.7	51.1	28.2	▲ 7.5
坂井地区	30.8	30.8	38.5	▲ 7.7	46.3	22.0	31.7	↑	14.6	▲ 15.4	36.6	36.6	26.8	9.8
丹南地区	25.9	29.6	44.4	▲ 18.5	32.3	34.4	33.3	↑	▲ 1.0	0.0	32.6	43.5	23.9	8.7
奥越地区	18.2	27.3	54.5	▲ 36.3	33.3	40.0	26.7	↑	6.6	▲ 36.3	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0
嶺南地区	23.9	29.6	46.5	▲ 22.6	22.1	48.5	29.4	↑	▲ 7.3	▲ 12.9	23.5	45.6	30.9	▲ 7.4
受注残高	15.2	36.1	48.8	▲ 33.6	32.4	36.7	30.9	↑	1.5	▲ 19.5	22.5	45.7	31.9	▲ 9.4
福井地区	12.6	36.9	50.5	▲ 37.9	31.5	37.9	30.6	↑	0.9	▲ 14.9	18.0	49.2	32.8	▲ 14.8
坂井地区	0.0	34.8	65.2	▲ 65.2	43.5	26.1	30.4	↑	13.1	▲ 40.9	43.5	39.1	17.4	26.1
丹南地区	21.0	29.0	50.0	▲ 29.0	35.2	38.0	26.8	↑	8.4	▲ 14.5	26.8	47.9	25.4	1.4
奥越地区	12.5	62.5	25.0	▲ 12.5	41.7	33.3	25.0	↑	16.7	▲ 37.5	25.0	50.0	25.0	0.0
嶺南地区	20.8	39.6	39.6	▲ 18.8	22.9	37.5	39.6	↑	▲ 16.7	▲ 22.9	16.7	35.4	47.9	▲ 31.2
製(商)品販売価格	7.8	79.6	12.6	▲ 4.8	15.0	75.5	9.5	↑	5.5	▲ 3.0	15.2	73.9	10.9	4.3
福井地区	8.2	78.2	13.6	▲ 5.4	15.1	75.9	9.0	↑	6.1	0.0	16.3	74.1	9.6	6.7
坂井地区	8.6	82.9	8.6	0.0	12.8	71.8	15.4	↓	▲ 2.6	▲ 8.5	7.7	71.8	20.5	▲ 12.8
丹南地区	6.3	81.0	12.7	▲ 6.4	15.1	75.6	9.3	↑	5.8	▲ 8.9	19.5	71.3	9.2	10.3
奥越地区	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0	20.0	73.3	6.7	↑	13.3	▲ 20.0	20.0	73.3	6.7	13.3
嶺南地区	9.5	79.4	11.1	▲ 1.6	14.8	77.0	8.2	↑	6.6	3.2	9.8	78.7	11.5	▲ 1.7
原材料(仕入・資材)価格	26.4	69.7	3.9	22.5	44.4	52.4	3.2	↑	41.2	26.6	42.2	54.4	3.4	38.8
福井地区	26.4	69.4	4.2	22.2	39.1	57.4	3.6	↑	35.5	27.6	38.7	57.1	4.2	34.5
坂井地区	36.1	58.3	5.6	30.5	48.7	51.3	0.0	↑	48.7	22.2	43.6	53.8	2.6	41.0
丹南地区	26.6	69.6	3.8	22.8	55.4	40.2	4.3	↑	51.1	27.8	50.0	47.8	2.2	47.8
奥越地区	36.4	63.6	0.0	36.4	46.7	53.3	0.0	↑	46.7	45.5	53.3	46.7	0.0	53.3
嶺南地区	19.4	77.6	3.0	16.4	39.7	57.1	3.2	↑	36.5	22.4	36.5	58.7	4.8	31.7
在庫	14.1	59.6	26.3	▲ 12.2	11.7	63.0	25.3	↓	▲ 13.7	▲ 11.5	11.0	71.7	17.3	▲ 6.3
福井地区	17.2	54.3	28.4	▲ 11.2	12.5	60.3	27.2	↓	▲ 14.7	▲ 11.2	7.4	72.1	20.6	▲ 13.2
坂井地区	8.3	54.2	37.5	▲ 29.2	7.4	70.4	22.2	↑	▲ 14.8	▲ 12.5	18.5	66.7	14.8	3.7
丹南地区	14.3	67.1	18.6	▲ 4.3	16.9	59.7	23.4	↓	▲ 6.5	▲ 4.2	16.9	71.4	11.7	5.2
奥越地区	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	90.9	9.1	↓	▲ 9.1	0.0	0.0	90.9	9.1	▲ 9.1
嶺南地区	11.3	58.5	30.2	▲ 18.9	6.1	65.3	28.6	↓	▲ 22.5	▲ 22.6	10.2	69.4	20.4	▲ 10.2
雇用者	17.9	59.1	23.0	▲ 5.1	25.1	56.9	17.9	↑	7.2	14.6	17.2	76.3	6.4	10.8
福井地区	17.6	62.1	20.3	▲ 2.7	26.3	56.6	17.1	↑	9.2	14.4	16.0	74.9	9.1	6.9
坂井地区	25.6	53.8	20.5	5.1	19.5	58.5	22.0	↓	▲ 2.5	7.7	12.2	87.8	0.0	12.2
丹南地区	18.1	59.0	22.9	▲ 4.8	24.7	58.1	17.2	↑	7.5	19.3	22.6	71.0	6.5	16.1
奥越地区	9.1	63.6	27.3	▲ 18.2	26.7	46.7	26.7	↑	0.0	▲ 9.1	13.3	80.0	6.7	6.6
嶺南地区	15.5	54.9	29.6	▲ 14.1	25.8	57.6	16.7	↑	9.1	16.9	16.9	80.0	3.1	13.8
資金繰り	13.8	78.4	7.9	5.9	15.1	79.5	5.4	↑	9.7	3.4	10.3	79.9	9.8	0.5
福井地区	14.4	77.1	8.5	5.9	13.7	80.6	5.7	↑	8.0	4.0	9.2	79.9	10.9	▲ 1.7
坂井地区	23.7	71.1	5.3	18.4	25.0	72.5	2.5	↑	22.5	18.4	20.0	75.0	5.0	15.0
丹南地区	10.8	83.1	6.0	4.8	15.1	78.5	6.5	↑	8.6	1.2	10.8	79.6	9.7	1.1
奥越地区	0.0	81.8	18.2	▲ 18.2	0.0	86.7	13.3	↑	▲ 13.3	▲ 18.2	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0
嶺南地区	12.7	78.9	8.5	4.2	16.4	80.6	3.0	↑	13.4	0.0	9.1	83.3	7.6	1.1

最近の業況や景気動向に関する主な意見 ①

業種	自由意見
製造業	繊維業はアパレル企業を始め非常に厳しい状況にありますが、コロナや政府のせいにしていない場合ではなく、企業努力を怠らず、次へ次へと最善手を指し続けたいと思います。
製造業	①自動車メーカー、タイヤメーカーの2021/3決算、2021/6中間決算の大幅改善を受けて、5～6月の受注は大幅改善の見込み。 ②原材料の仕入れについては、半導体、プラスチック原料、鉄材など、供給減、需要増による調達困難（価格増及び原材料・部品不足）で、売上高が増収するか否かは不透明である。
製造業	当社の場合、飲食店の経営が安定しない限り売上げの回復は無い。
製造業	週休2日制の導入など、建設業界での働き方を見直して欲しい。
製造業	未だ製造業に関しては生産状況が芳しくなく、先行きも見通せないため、設備投資には消極的であると感じる。
製造業	福井に関しては、新幹線開通や駅前開発の需要がまだあるが、完全になくなった場合がどうなるかが懸念される。
製造業	目前に関しては、緊急事態及びワクチンの一段落、インバウンドに関しては、2～3年先でないと正常化は無い。国内経済・消費に重点を置く必要がある。
製造業	減少要因：不要不急の手術回避による受注減、楽器の販売減少（コンサートが開かれずものが売れないため受注減）
製造業	アパレル系の業況は依然として悪い。備蓄系の業況は在庫の増減によって現在は作り込みのため、受注は多いが夏以降は減少する予想。仕入材料、部材等の値上げが今後影響してくると予想。
製造業	製造業に関しては先行きの不透明感がぬぐえず、設備投資には未だ消極的な先が多い。
製造業	新型コロナウイルスワクチン接種が日本国内でも始まったが、第4波による緊急事態宣言発令中で先行きが見えない状況は変わらず外食や観光産業への影響が長引き心配される。東京オリンピック・パラリンピックが7月から開催されるのなら日本経済に好影響を期待するところはある。海外ではワクチン接種が進み、アフターコロナを模索し始めた動きもみられるようになり、特にアメリカや中国の経済大国での需要増加を反映して当社業況に繋げていきたい。
製造業	新型コロナウイルスの影響は依然として続いており、特に営業活動面で支障が出ている部分がなかなか解消しない状態です。
製造業	今の所、業況は良いが、景気はワクチン接種の普及によると思われる。
製造業	消費低迷を受け、大型の受注が延期され売上が低下している。大型の景気対策が必要。
建設業	コロナで設備投資を先延ばしにされる方が多いように感じます。銅ベースが上がり続け、電線がかつてない程上昇しています。
建設業	当社は橋梁工事を主としておりますが、新幹線、県道新九頭竜川橋等重大工事が終了しましたが、今期今年度は橋梁工事が減っております。この様な減り方はこの10年間経験したことがありません。橋梁補修ばかり発注されていますが、新設橋梁工事が無いと、当社の経営は安定いたしません。
建設業	感染症よりも木材価格の上昇に影響を受けそうである。
建設業	建設業は消費増税時の受注残を2020年完成引渡し（売上）になるので2020年は持ちこたえた感じ。しかし、2020年の新規受注が10～20%減なので、2021年の完成引渡しが少ない。（受注残）
建設業	弊社は公共工事が主であり、来年度以降の受注については影響が出ることを懸念している。
建設業	材料の値上がり状況が激しく、加工単価が値下がりしてのダブルパンチで経営状況に不安を感じる。
建設業	2020年より現在まで、官公庁発注物件が大幅に減少している。
建設業	コロナによりリモートワークやSNSを活用した情報発信が一般化した。建設業についても積極的に取り入れる努力をしたいと思う。
建設業	①製品の急激な値上げに全ての材料が上昇する感じで、建築としては安いものが生産しづらくなるかと思います。 ②職人の人数の低下が目立つきました。 ③早く若い職人を育成しなくては！
建設業	昨年、一昨年の北陸新幹線工事も落ち着き、本来の工事高となりました。コロナの影響で工事延期、中止が相次いでいますが、弊社はこうなることを見込み、新規客取り込みを力を入れてきました。また、国交省やネクスコといった公共工事の県の案件を多数発注されていて、令和3年度中は120%の稼働の見込みです。
建設業	コロナ対策によって国全体がかなりの予算を使っているため、来年度以降の公共投資に予算が使えるか不安であります。また、民間投資もかなり減っていると感じています。
建設業	建設業の業況は2～3年落ち込むだろう。
建設業	なんとか維持しているが電力会社の動向が読みづらく、現在の所は大きな変動はないと聞いている。
建設業	全般に例年並みに推移しているが、その中新規顧客の獲得に努力している。結果、売上増加を具現化している。
建設業	建設業は消費増税時の受注残を2020年完成引渡し（売上）になるので2020年は持ちこたえた感じ。しかし、2020年の新規受注が10～20%減なので、2021年の完成引渡しが少ない。（受注残）
卸・小売業	コロナで失業者が増えたと言っているが、求人倍率は全国平均で1.05倍、福井は1.6倍くらいでまだまだ人手不足。地方に労働者が流れる様、労働市場の流動性を作ることと、東京や大都市が良い様な価値観を変えることが必要だと思う。

最近の業況や景気動向に関する主な意見 ②

業種	自由意見
卸・小売業	コロナ禍の巣ごもり消費によって、食品スーパーは2020年4月頃から売上高が増加した。1年が経過し、当然昨対比は減少に転ずる。さらに、ドラッグストアの新規出店が止まらず、オーバーストアである。
卸・小売業	コロナウイルス感染のための商品販売の低下。
卸・小売業	ウッドショックの影響が出てきている。今後の状況を注視し、早めの対応で対処する。
卸・小売業	従来型のサービス品質を維持していく事が、コスト的にも働く側の精神的にも難しくなっているように感じる。今後は消費者へのサービスの質と労働者の仕事に対する意欲とのバランスを取りながら経営できる会社（業界）が生き残ると感じる。
卸・小売業	コロナは減ると思うが無くならない。インフルエンザくらいの位置づけになるが、アフターコロナではなく、コロナとともにどう共生していくか、となる。回復しない経済をどうするか、どうなるか？情報をお願いします。
卸・小売業	先行きの見えない心配な状況が続いています。働き方や市場の変化に沿ったやり方を考えながら出来る事をやっていくしかない。
卸・小売業	輸出関連の商売が回復しないと非常に厳しい。
卸・小売業	今期から来期にかけて生コン、骨材の出荷量が減少する見込み。
卸・小売業	特需工事（新幹線、原子力発電所）の有無により、大きく左右される業種である。
卸・小売業	第1波～第4波まで感染が収まったと思ったら前よりひどくなり、売上を取りにいこうにも本格的な仕入れが出来ない環境が続いており、先を見通せない意味で一番厄介。現況は厳しい状況を強いられるのは仕方がないが、明確な出口戦略が全く見えていないことが一番の問題とを感じる。
卸・小売業	従業員の雇用を守るためにはまずは企業が利益を上げないと強く思います。
卸・小売業	行政の政策にもものすごく左右されている。
卸・小売業	ワクチン接種完了による景気回復を待っている状態。
卸・小売業	前年度で新幹線に関する工事も終了となり、新年度からは従来の一般工事のみの受注に戻る。今後は供給体制の構築と価格の維持が課題となる。
卸・小売業	コロナ禍により価格の変動が激しく大変です。また、各地にドラッグストアなどの大型店が出店しており、価格が安売りになり大変です。
各種サービス業	二年前の日常が今や非日常の世の中で、コロナの収束後の理想の日常を描き、それに向かって邁進あるのみ!!
各種サービス業	コロナの影響が直撃しております。
各種サービス業	各業種の全体を通して、仕事量が少なく、料金低下による仕事の取合いが多発している。
各種サービス業	オリンピックしたいが故の官製不況だと思う！でも、これもワクチンが進み「GoTo」を再開すればもとに戻ると思う。日常生活が今のまま、耐久生活が続くとは思えない。但し、インバウンド再開までは、観光は「GoTo」だけでは好況は続かないと思う。（人口減少）
各種サービス業	業況は回復傾向にあるが、鉄道、バスの利用客数に関して、高齢者の外出自粛がまだまだ続いており、例年通りにはなかなか回復してこない。
各種サービス業	ネット社会の構築が一段と加速。
各種サービス業	コロナ禍による影響によりイベント等の開催が見送られており、回復には時間を要すると思う。
各種サービス業	コロナがワクチンにより落ち着けば、今より幾分か事業は持ち直すと考えている。ただ、地方の過疎化問題等元々あった課題が、コロナをきっかけに浮き彫りになったとは感じる。会社を継続的に発展させていくためには、新たな発想、新たな事業が必要だと感じる。
各種サービス業	北陸新幹線延伸に関する工事も終盤に来ており、新たな受注先探しが必要となる。
各種サービス業	輸送している荷物が減少していることから、料金の値下がりを感じる。燃料代（軽油）が、前年より高くなっており、昨年より厳しさを感じる。
各種サービス業	昨年同時期は突然訪れたコロナ禍に、戸惑っておりましたが、観光需要の消滅も企業送迎バス需要の取り込みで売上や収益上では補う事が出来て、一年超が経過しました。現在は合併の準備も進み始めており、三年後の新幹線に向けた事業展開を着々とこなしていく事に専念しております。
各種サービス業	ウッドショックによる燃料調達環境の変化に注視しています。
各種サービス業	福井港を利用するメーカーの数は原材料を前倒しで輸入しているので期待している。内航船においてもスラグ等、基礎工事の材料となるものを多く取り扱っており、徐々にではあるが回復していくと思われる。
情報通信業	取引先の業界の中には、依然として新型コロナウイルスの影響を大きく受けているところもあり、当社にも少なからず影響が出ています。
不動産業	DX化にともなう組織作りに注力。雇用・研修に工夫。
不動産業	コロナ禍による賃貸テナントの退去が目立つ。（6か月家賃支援の補助金を期待したが、業況回復せず。家賃引き下げ申し込みあり。）